

データで見る! さっぽろ経済の動き

札幌の景気は、今どのような状況にあるのでしょうか？

「データで見るさっぽろ経済の動き」では、最近の札幌市や北海道の主な景気指標を時系列にまとめ、データやグラフを交えて、経済の動きを分かりやすくお伝えします。

◆◇◆ 目 次 ◆◇◆

1. 最近の札幌経済の概況	p. 1
2. 主要経済指標の動き	p. 2
(1) 個人消費の動向	p. 2
(2) 住宅着工の状況	p. 4
(3) 鉱工業の生産動向	p. 4
(4) 公共工事の動向	p. 5
(5) 雇用情勢	p. 5
(6) 観光客の動向	p. 6
(7) 倒産状況	p. 6
3. 札幌の産業規模のまとめ	p. 7
(1) 人口の動向	p. 7
(2) 事業所、従業員の動向	p. 8
(3) 市内総生産、市民所得	p. 9
(4) 企業の景況感	p. 10
【参考】主要経済指標	p. 11

1. 最近の札幌経済の概況

平成26年3月-平成26年4月の統計データをもとに、札幌経済の概況を総括しています。

(1) 札幌の経済概況

最近の札幌経済は、住宅着工が弱含みで推移しているものの、個人消費や観光客数が持ち直しているなど、全体としては、緩やかに持ち直しています。

(2) 主な経済指標の動向

項目	概要	前年同月データとの比較	前月データとの比較
個人消費の動向(p.2)	・3月の大型小売店販売額は505億円で、8ヶ月連続で前年同月を上回る(+19.6%)。 ・3月の新車登録台数は16,729台で、12ヶ月連続で前年同月を上回る(+7.9%)。	(大型小売販売額) 423億円→505億円 	(大型小売販売額) 374億円→505億円
住宅着工の動向(p.4)	・3月の新設住宅着工戸数は、1,294戸となり3ヶ月連続で前年同月を下回る(▲1.4%)。	(着工戸数) 1,312戸→1,294戸 	(着工戸数) 605→1,294戸
鉱工業の生産動向(p.4)	・3月の鉱工業生産指数(北海道)は、101.9(季節調整済)となり、前月を上回る(+1.6%)。	(生産指数) 99.1→102.0 	(生産指数:季節調整済) 100.3→101.9
公共工事の動向(p.5)	・4月の公共工事請負額(石狩管内)は、324億円となり、前年同月を上回る(55.1%)。	(請負額) 209億円→324億円 	(請負額) 145億円→324億円
雇用情勢(p.5)	・4月の有効求人倍率(札幌圏)は、0.74となり、50ヶ月連続で前年同月を上回る(+0.17ポイント)。	(有効求人倍率) 0.57→0.74 	(有効求人倍率) 0.78→0.74
観光客の動向(p.6)	・4月の来道客数(北海道)は、78.6万人で、26ヶ月連続で前年同月を上回る(+0.2%)。	(来道客数) 78.5万人→78.6万人 	(来道客数) 97.6万人→78.6万人
倒産状況(p.6)	・4月の企業倒産件数(札幌市)は、10件となり、前年同月を下回る。(▲33.3%)	(倒産件数) 15件→10件 	(倒産件数) 16件→10件

(3) 参考(他機関の概況判断)

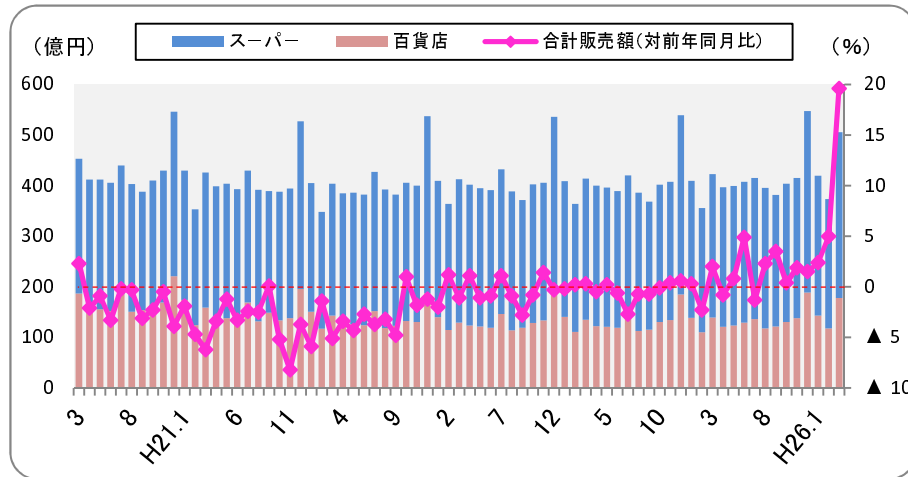
項目	全国の動向	北海道の動向
	内閣府「月例経済報告」 (平成26年5月23日発表)	北海道経済産業局 「管内経済概況」 (平成26年5月16日発表)
全体	景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。	管内経済は、緩やかに持ち直している。
個人消費	消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きとなっている。	消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、足もとでは回復の兆しもあり、持ち直しの傾向が続いている
住宅投資	消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、減少している。	弱含みで推移している。
設備投資	増加している。	持ち直しの動きがみられる。
生産	消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、このところ弱含んでいる。	持ち直しの動きがみられる。
公共投資	堅調に推移している。	堅調に推移している。
雇用情勢	着実に改善している。	緩やかに改善している。
観光	—	着実に持ち直している。
企業倒産	おおむね横ばいとなっている。	件数は増加、負債総額は減少している。

2. 主要経済指標の動き

個人消費、雇用状況、倒産の状況など、最近の主要経済指標の推移をご紹介します。

● 個人消費の動向

【図1】大型小売店販売額の推移(札幌市)

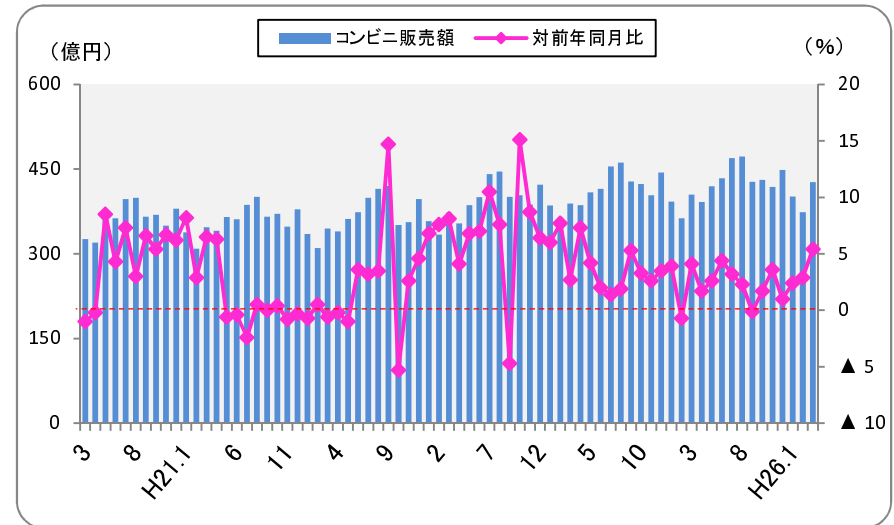


* 品目別大型小売店販売額前年同月比(札幌市)

	合計				
	衣料品	身の回り品	飲食料品	その他	
合計	19.6	24.3	30.0	7.7	43.5
百貨店	27.9	25.8	33.5	4.3	62.4
スーパー	15.6	20.3	17.4	8.3	35.6

<資料>北海道経済産業局

【図2】コンビニ販売額の推移(北海道)

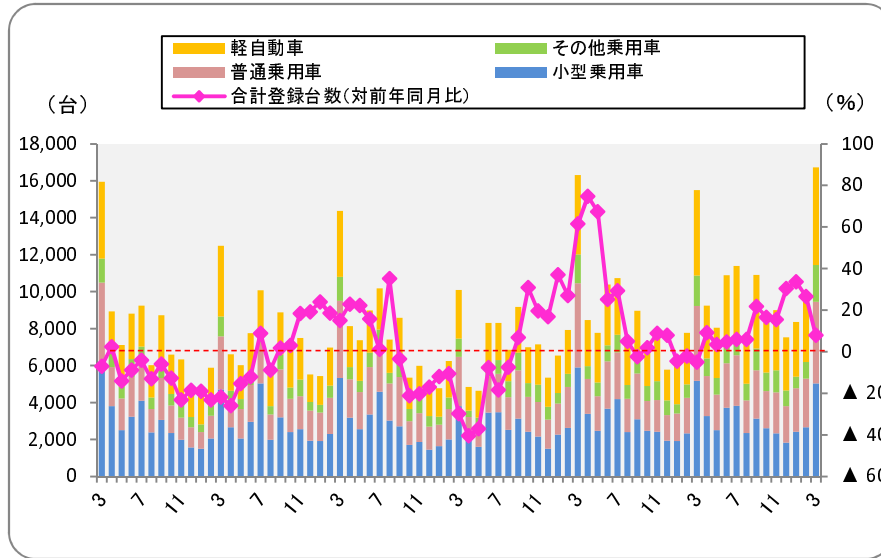


<資料>北海道経済産業局

- 平成26年3月の大型小売店販売額(札幌市)は8か月連続で前年同月を上回りました(+19.6%) (図1)。
百貨店、スーパーともに前年を上回っています(百貨店+27.9%、スーパー+15.6%)。
品目別では、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他のすべての品目で前年を上回っています。
- 3月のコンビニエンスストア販売額(北海道)は、6か月連続で前年同月を上回りました(+5.4%) (図2)。

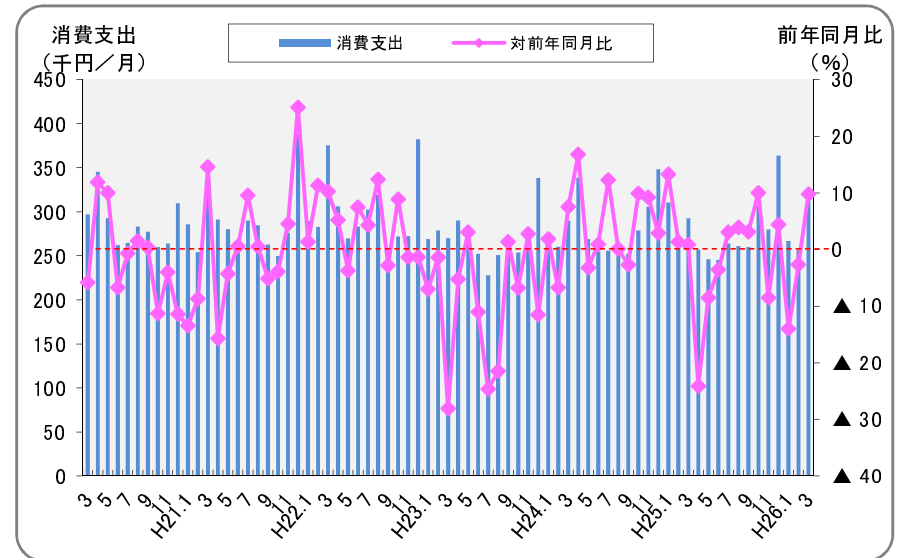
● 個人消費の動向

【図3】新車登録台数の推移(札幌運輸局管内)



<資料> 自販連札幌支部、全国軽自動車協会連合会札幌地区事務取扱所

【図4】消費支出(札幌市)



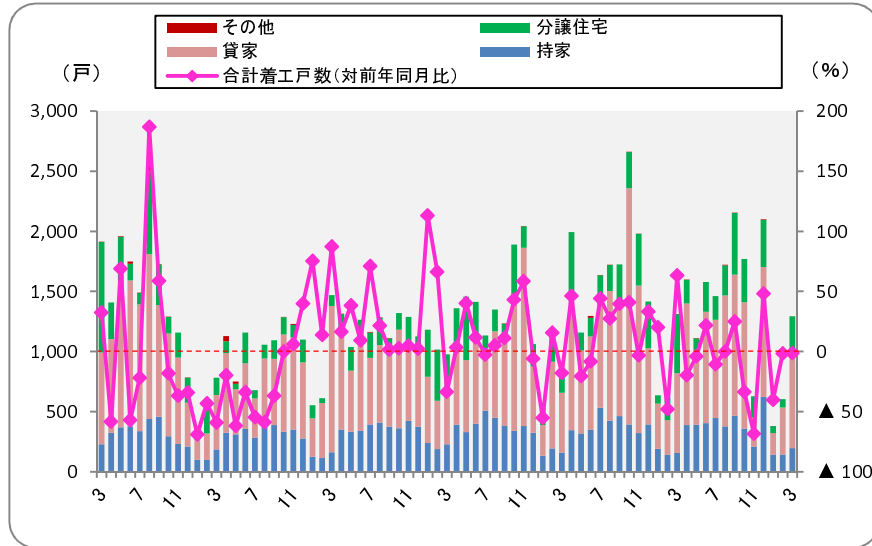
<資料> 総務省統計局「家計調査」

○平成26年3月の新車登録(届出)台数(札幌運輸局管内)は、前年同月を12ヶ月連続で上回りました(+7.9%) (図3)。車種別では、小型乗用車は前年同月を下回り(▲2.4%)、普通乗用車は7ヶ月連続で前年同月を上回りました(8.8%)。軽自動車は30ヶ月連続で前年同月を上回りました(+14.4%)。

○3月の家計調査(総務省統計局)によると、一世帯当たりの消費支出は32万1,335円となり、前年同月を上回りました(+9.8%) (図4)。

● 住宅着工の動向

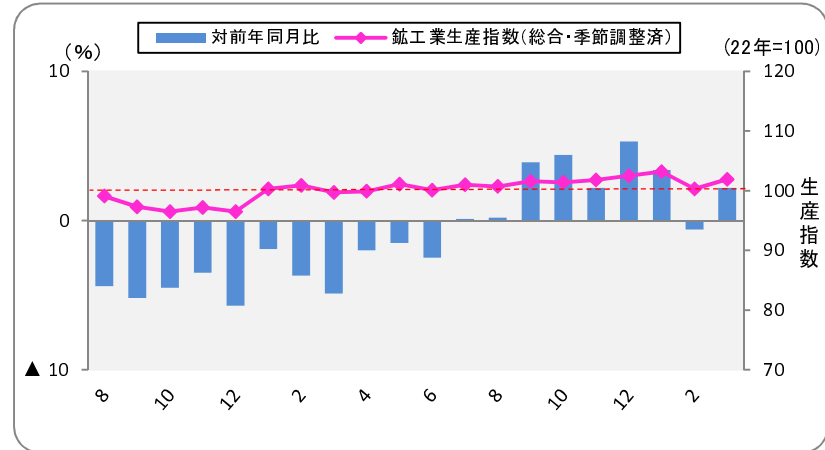
【図5】新設住宅着工戸数の推移(札幌市)



<資料>国土交通省

● 鉱工業の生産動向

【図6】鉱工業生産指数の推移(北海道)



* 主な業種別の前月に対する上昇・低下項目

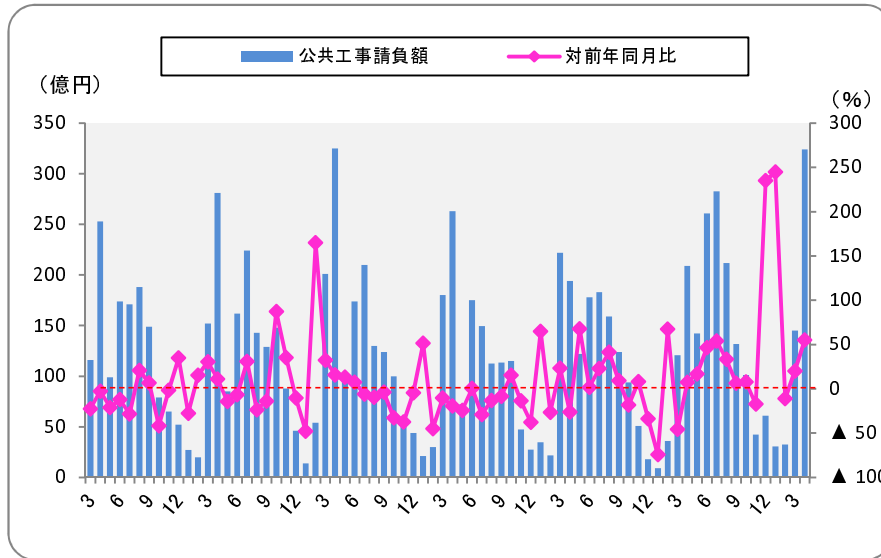
	業種	前月比(%)	前年同月比(%)
上昇	一般機械工業	+ 15.9	▲ 8.6
	電気機械工業	+ 3.1	+ 9.4
低下	輸送機械工業	▲ 7.9	▲ 1.2
	印刷業	▲ 4.7	▲ 8.8
	非鉄金属工業	▲ 3.3	▲ 3.4
	金属製品工業	▲ 3.3	+ 11.4
	食料品工業	▲ 0.6	▲ 1.1

<資料>北海道経済産業局

- 平成26年3月の新設住宅着工戸数(札幌市)は、3ヶ月連続で前年同月を下回りました(▲1.4%) (図5)。内訳では、持家が+25.5%、貸家が+17.9%、分譲住宅は▲36.0%でした。
- 3月の鉱工業生産指数(北海道)は、季節調整済指数は101.9で前月比+1.6%と上昇しました(図6)。

● 公共工事の動向

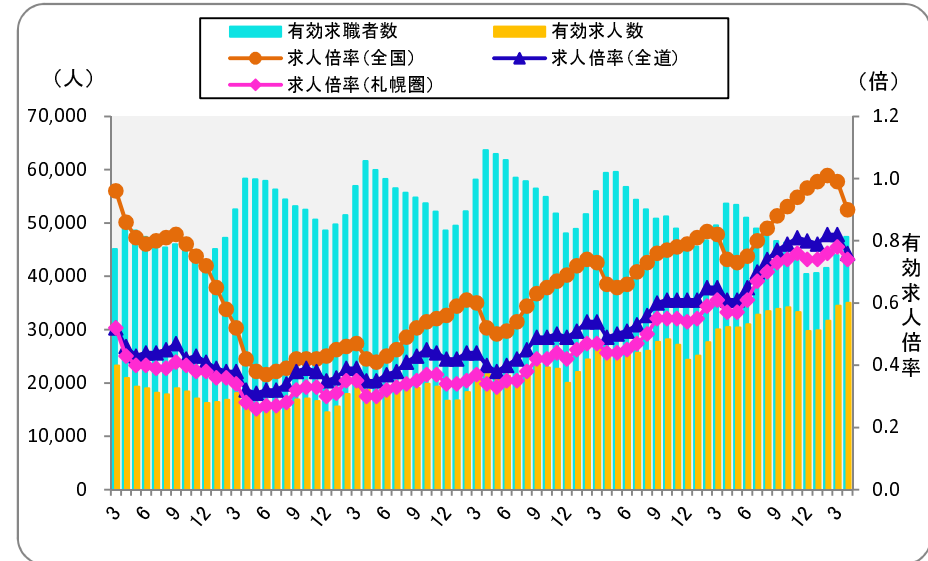
【図7】公共工事請負額の推移(石狩管内)



<資料>北海道建設業信用保証㈱

● 雇用情勢

【図8】求職・求人、有効求人倍率の推移(札幌圏)

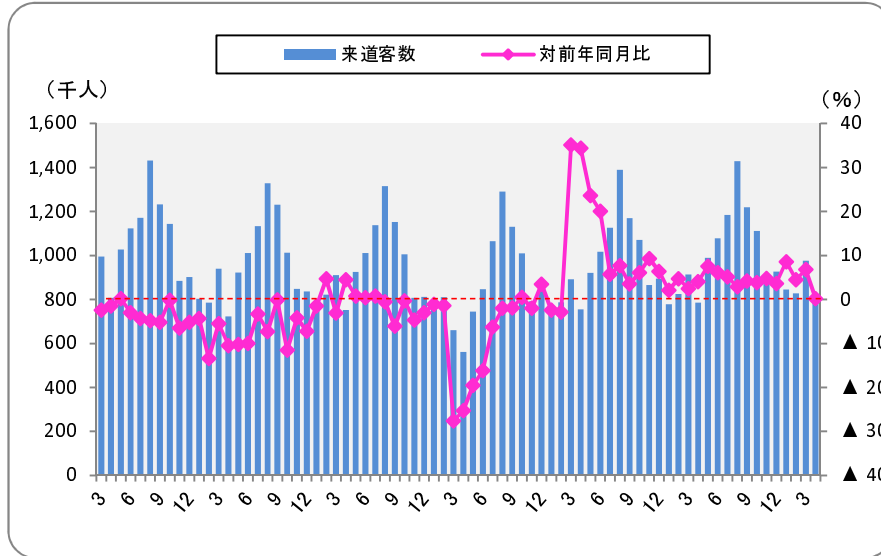


<資料>北海道労働局
 ※札幌圏とは、札幌市、江別市、北広島市、石狩市(浜益区を除く)、当別町、新篠津村を指す。
 ※上記数値は、常用パートタイムを含む。

○平成26年4月の公共工事請負額(石狩管内)は、前年同月を上回りました(+55.1%) (図7)。
 ○4月の有効求人倍率(札幌圏)は、0.74倍と、50ヶ月連続で前年同月を上回りました(+0.17) (図8)。
 また、有効求人数は51ヶ月連続で前年同月を上回り、有効求職者数は30ヶ月連続で前年同月を下回りました(有効求人数+14.9%、有効求職者数▲11.6%)。

● 観光客の動向

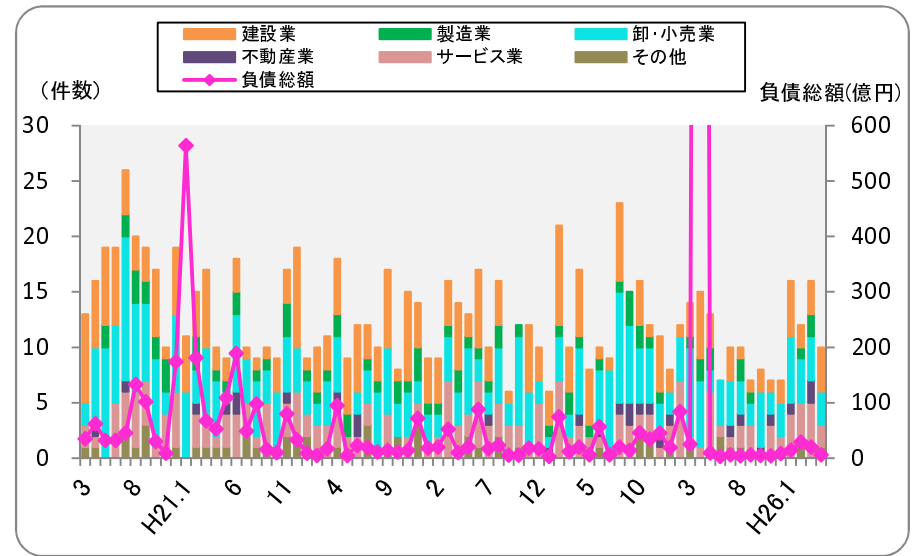
【図9】来道者数の推移(北海道)



<資料>(社)北海道観光振興機構

● 倒産状況

【図10】企業倒産件数と負債総額の推移(札幌市)



<資料>株式会社帝国データバンク
 ※倒産5法(会社更生法、民事再生法、破産法、商法に基づく特別清算及び会社整理)による負債額1,000万円以上の法的整理が対象。

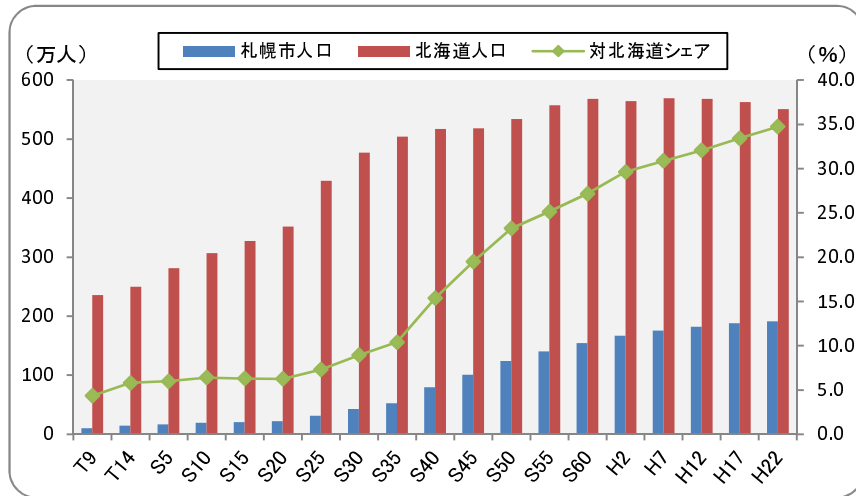
○平成26年4月の来道客数(北海道)は78.6万人(+0.2%)で、26か月連続で前年同月を上回りました(図9)。
 ○4月の法的整理による企業倒産件数(札幌市)は10件で、前年同月より5件(33.3%)減少しました。負債総額は6億円で、前年同月比▲99.9%と減少しました(図10)。
 なお、負債額が10億円を超える大型倒産はありませんでした。

3. 札幌の産業規模

札幌の産業規模を、「人口」、「事業所数・従業者数」、「市内総生産」の分野ごとに紹介します。

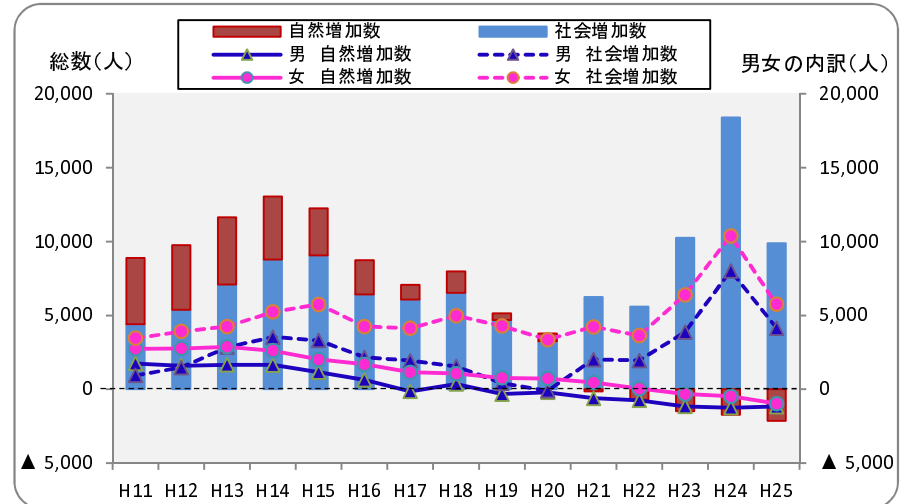
● 札幌市の人口

【図11】札幌市・北海道の人口の推移



<資料>総務省統計局「国勢調査」、北海道総合政策部地域行政局、札幌市市長政策室政策企画部（人口数は各年10月1日現在）

【図12】札幌市の男女別人口動態の推移

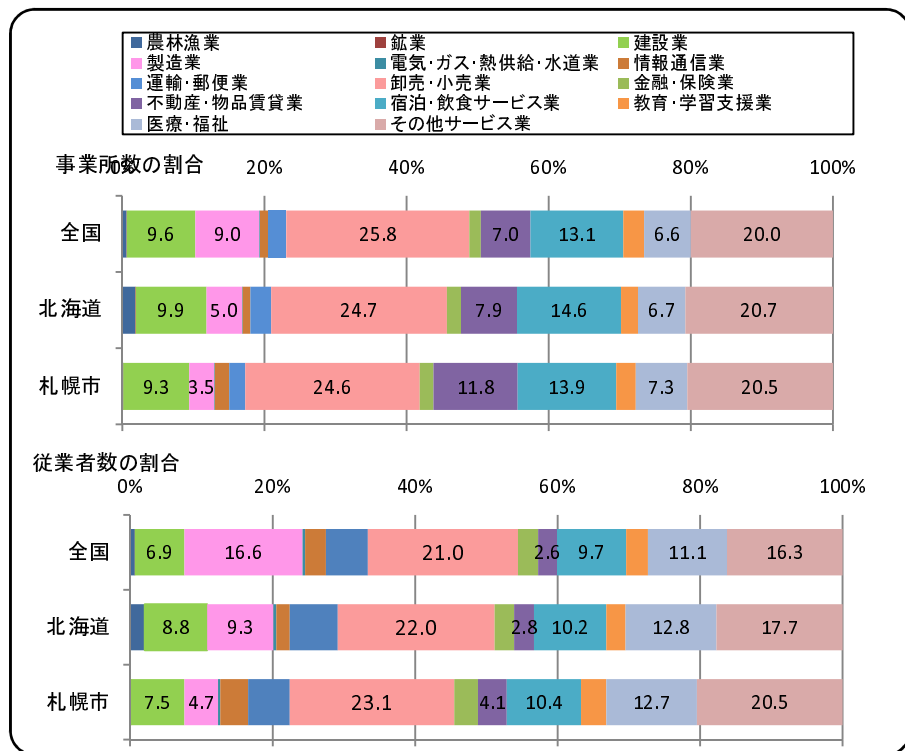


<資料>札幌市住民基本台帳

- 国勢調査による5年毎の人口推移をみると、近年、札幌市は人口増加率が鈍化傾向にあります。また、札幌市の人口の対全道シェアは年々高まっており、平成22年は34.8%となっています。（図11）
- 近年の人口動態は、自然増加（出生－死亡）は平成21年からマイナスに転じており、少子化傾向が表れています。その一方、社会増加（転入－転出）は平成20年まで減少傾向にありましたが、その後増加傾向に転じています。（図12）

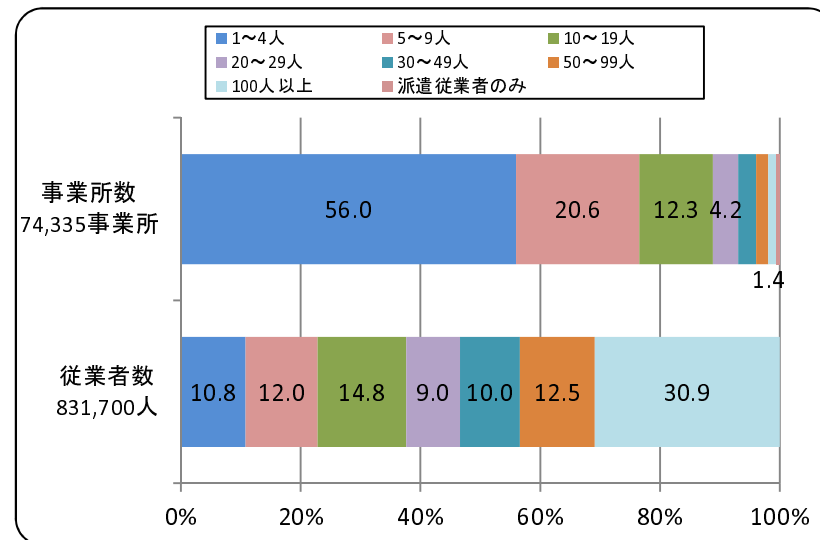
札幌市事業所数・従業者数

【図13】事業所数と従業者数の産業別内訳(民営)(平成24年2月1日現在)



<資料>総務省統計局平成24年「経済センサス活動調査」

【図14】従業者規模別事業所数及び従業者数の割合(民営)

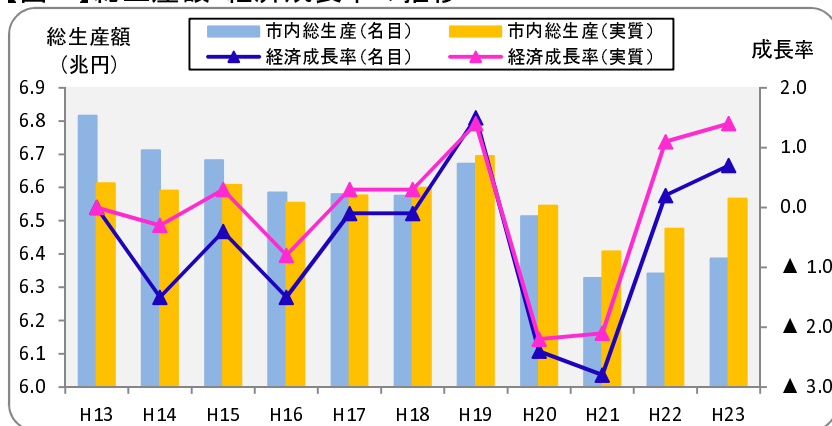


<資料>総務省統計局平成24年「経済センサス活動調査」

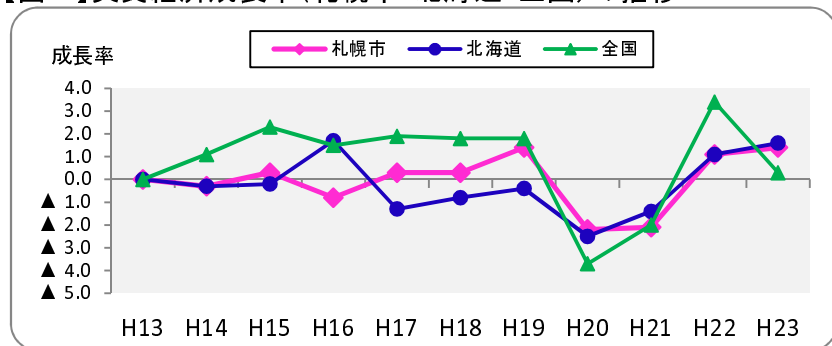
- 札幌市の産業構造は、事業所数、従業者数とともに、全国に比べて製造業などの2次産業の割合が低く、3次産業が中心となっています。(図13)
- 従業者規模別に札幌市の事業所数をみると、従業者「1~4人」が全体の56.0%と半数以上を、事業所規模9人以下の事業所が、事業所全体の4分の3を占めています。また、「100人以上」の事業所は、事業所数では事業所全体のわずか1.4%ですが、従業者数では3割以上を占めています。(図14)

札幌の市内総生産・市民所得

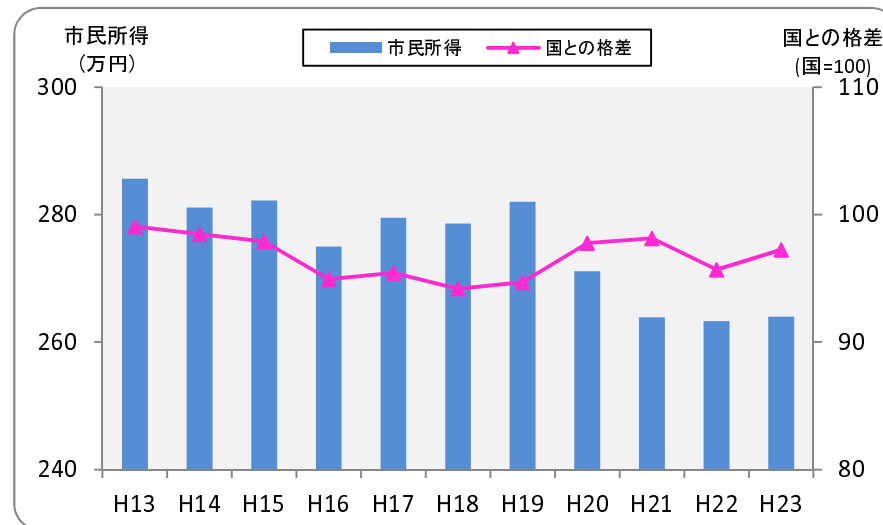
【図15】総生産額・経済成長率の推移



【図16】実質経済成長率(札幌市・北海道・全国)の推移



【図17】札幌市の一人当たり市民所得と国民所得との格差の推移



<資料> 内閣府「平成23年度国民経済計算」、北海道「平成23年度道民経済計算」、市長政策室政策企画部

○平成23年度の札幌市の市内総生産は、名目6兆3,864億円（経済成長率+0.7%）、実質6兆5,668億円（経済成長率+1.4%）です。名目、実質ともに2年連続プラスとなっています（図15）。

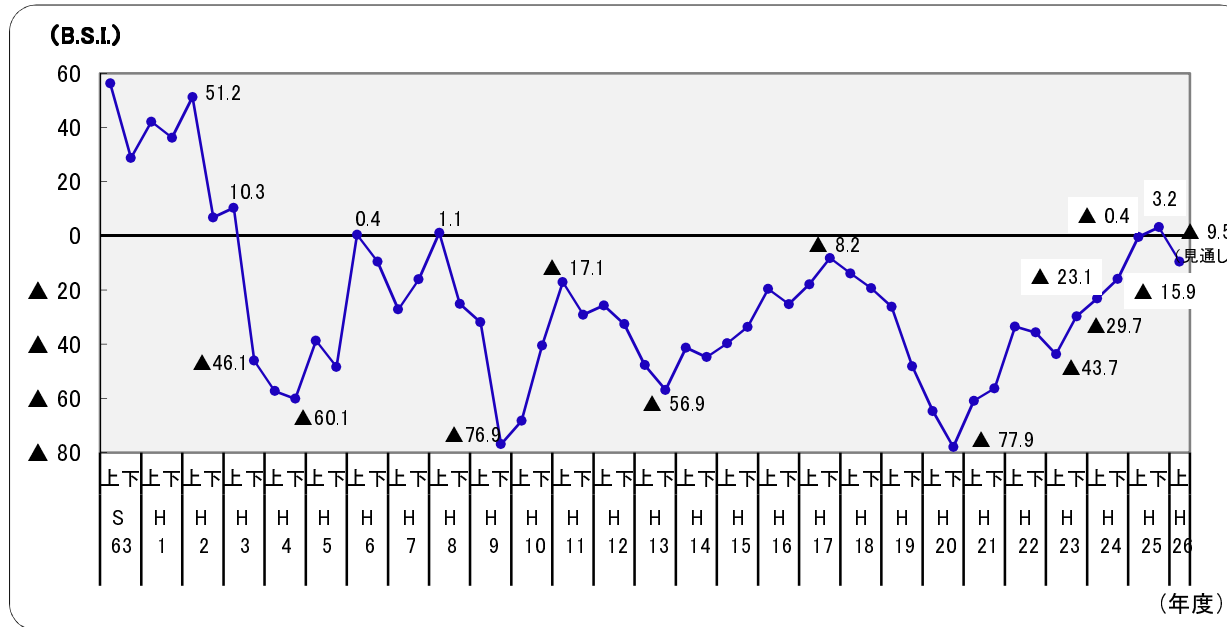
また、全国的には2%程度の経済成長が続いていた時期も、札幌市の経済は低迷を続けていました（図16）。

○平成23年度の市民1人当たりの市民所得は、2,640千円で、前年比+0.3%となっており、4年ぶりに増加しました。

また、札幌市の市民所得と、全国の国民所得の格差をみると、拡大傾向が続いていましたが、平成20年度に3.1ポイント、平成23年度に1.5ポイント縮小するなど縮小の兆しがあります。（図17）

● 市内企業の景況感

【図18】企業経営動向調査の結果



※B.S.I.(景気動向指数)

景気が以前と比較して、「上昇している」と回答した企業の割合から「下降している」と回答した企業の割合を差し引いた数値。札幌市では、毎年度2回調査を実施している。

○平成25年度下期（25年10月～26年3月）の市内の景気について、平成25年度上期に比べて「上昇」とみる企業の割合（22.2%）から「下降」とみる企業の割合（19.0%）を減じた市内景況判断B. S. I. は、3.2であり、5期連続で改善しています（図18）。

○また、26年度上期の市内景況判断B. S. I.（見通し）は、▲9.5と25年度下期と比べて大きく減少する見通しとなっています（図18）。

● 主要経済指標（その1）

	個人消費						新車登録台数		物価		家計調査					
	大型小売店販売額(札幌市)						コンビニ販売額 (北海道)		消費物価指数 (札幌市)		名目消費支出(札幌市)					
	百貨店+スーパー		百貨店		スーパー		コンビニ販売額 (北海道)		消費物価指数 (札幌市)		全世帯		勤労者世帯			
	(億円)	前年比(%)	(億円)	前年比(%)	(億円)	前年比(%)	(億円)	前年比(%)	(H22=100)	(%)	(円)	前年比(%)	(円)	前年比(%)		
	全店ベース	全店ベース	全店ベース	全店ベース	全店ベース	全店ベース	全店ベース	(台)	(%)							
平成14年	5,229	0.9	2,318	▲ 3.2	2,912	4.4	4,204	0.3	114,169	▲ 3.5	101.1	▲ 1.1	294,738	▲ 9.5	331,375	▲ 2.9
15年	5,393	3.1	2,390	3.1	3,003	3.1	4,190	▲ 0.3	112,766	▲ 1.2	100.8	▲ 0.3	275,586	▲ 6.5	295,820	▲ 10.7
16年	5,308	▲ 1.6	2,300	▲ 3.8	3,008	0.2	4,229	0.9	111,623	▲ 1.0	101.0	0.2	298,178	8.2	316,349	6.9
17年	5,166	▲ 2.7	2,255	▲ 1.9	2,911	▲ 3.2	4,166	▲ 1.5	110,621	▲ 0.9	100.9	▲ 0.1	292,862	▲ 1.8	305,379	▲ 3.5
18年	5,218	1.0	2,217	▲ 1.7	3,001	3.1	4,163	▲ 0.1	108,482	▲ 1.9	101.1	0.2	289,261	▲ 1.2	289,822	▲ 5.1
19年	5,196	▲ 0.4	2,118	▲ 4.5	3,078	2.6	4,091	▲ 1.7	104,333	▲ 3.8	101.0	▲ 0.1	289,715	0.2	300,285	3.6
20年	5,107	▲ 1.7	2,019	▲ 4.7	3,088	0.3	4,251	3.9	95,448	▲ 8.5	103.0	2.0	288,692	▲ 0.4	305,608	1.8
21年	4,924	▲ 3.6	1,783	▲ 11.7	3,141	1.7	4,312	1.5	87,394	▲ 8.4	100.6	▲ 2.3	288,835	0.0	313,775	2.7
22年	4,855	▲ 1.4	1,631	▲ 8.5	3,225	2.7	4,405	2.1	93,351	6.8	100.0	▲ 0.6	300,961	4.2	332,230	5.9
23年	4,910	1.1	1,576	▲ 3.4	3,335	3.4	4,708	6.9	82,756	▲ 11.3	100.2	0.2	270,689	▲ 10.1	282,619	▲ 14.9
24年	4,894	▲ 0.3	1,567	▲ 0.5	3,337	0.1	4,920	4.5	105,030	26.9	100.1	▲ 0.0	281,575	4.0	307,517	8.8
25年	4,949	1.1	1,595	1.8	3,355	0.5	5,073	3.1	112,487	7.1	101.0	0.8	279,190	3.1	298,615	5.7
24年3月	414	0.3	135	4.4	279	▲ 1.6	389	2.7	16,305	61.5	101.0	0.6	290,185	7.5	314,828	10.8
24年4月	400	▲ 0.5	122	▲ 1.5	278	0.0	386	7.3	8,463	74.8	100.9	0.5	338,923	16.8	343,780	8.4
24年5月	396	0.2	121	▲ 0.4	275	0.4	409	4.2	7,771	67.3	100.5	0.0	269,041	▲ 3.2	301,382	▲ 3.5
24年6月	389	▲ 0.6	119	▲ 0.7	270	▲ 0.6	415	2.0	10,397	25.2	100.1	▲ 0.4	254,340	0.9	288,292	6.9
24年7月	420	▲ 2.7	141	▲ 3.2	289	▲ 2.5	455	1.4	10,740	29.3	99.6	▲ 0.6	256,010	12.3	286,013	14.6
24年8月	386	▲ 0.7	113	▲ 1.2	273	▲ 0.5	415	2.0	7,202	5.0	99.5	▲ 0.7	251,237	0.1	274,092	8.6
24年9月	368	▲ 0.7	115	▲ 3.4	253	0.6	428	5.3	8,961	▲ 2.3	99.9	▲ 0.2	252,202	▲ 2.7	306,256	13.8
24年10月	402	▲ 0.1	130	1.4	272	▲ 0.8	424	3.3	7,137	2.0	99.9	▲ 0.2	278,701	9.9	290,701	19.2
24年11月	407	0.4	134	0.5	273	0.3	404	2.6	7,794	8.9	99.6	▲ 0.1	305,765	9.2	343,325	40.8
24年12月	539	0.6	185	▲ 0.5	354	1.1	444	3.5	5,777	8.0	100.2	0.7	348,268	2.9	370,382	13.3
25年1月	410	0.3	139	▲ 1.2	271	1.0	392	3.9	6,254	▲ 4.5	100.2	0.1	310,377	13.3	317,505	9.4
25年2月	356	▲ 2.3	110	▲ 1.4	246	▲ 2.7	363	▲ 0.7	7,769	▲ 2.1	100.2	0.1	263,781	1.4	282,773	▲ 42.5
25年3月	423	2.0	139	3.5	283	1.2	405	4.1	15,497	▲ 5.0	100.5	▲ 0.5	292,671	0.9	312,647	▲ 24.5
25年4月	397	▲ 0.8	121	▲ 0.6	276	▲ 0.9	392	1.7	9,244	9.2	100.5	▲ 0.3	257,077	▲ 24.1	267,614	▲ 43.5
25年5月	399	0.8	123	1.9	276	0.4	420	2.6	8,045	3.5	100.4	▲ 0.1	246,135	▲ 8.5	266,253	▲ 11.7
25年6月	408	4.9	129	8.9	279	3.2	434	4.4	10,889	4.7	100.7	0.6	245,286	▲ 3.6	265,339	▲ 8.0
25年7月	415	▲ 1.3	136	▲ 3.5	279	▲ 0.2	470	3.2	11,386	6.0	100.8	1.2	263,840	3.1	302,540	5.8
25年8月	395	2.2	118	3.8	278	1.6	472	2.3	7,631	6.0	100.9	1.3	261,111	3.9	284,511	3.8
25年9月	381	3.5	122	5.5	260	2.6	428	▲ 0.1	10,914	21.8	101.7	1.8	259,943	3.1	287,483	▲ 6.1
25年10月	404	0.4	131	0.1	273	0.5	431	1.7	8,325	16.6	101.7	1.8	306,592	10.0	291,134	0.1
25年11月	415	1.9	138	3.0	277	1.4	418	3.6	8,999	15.5	101.7	2.2	279,731	▲ 8.5	312,751	▲ 8.9
25年12月	547	1.5	189	2.0	358	1.3	449	1.0	7,534	30.4	102.2	1.9	363,741	4.4	392,834	6.1
26年1月	420	2.4	143	2.9	277	2.2	402	2.4	8,357	33.6	101.8	1.7	266,863	▲ 14.0	291,674	▲ 8.1
26年2月	374	5.0	118	6.8	256	4.1	374	2.9	9,829	26.5	101.7	1.5	256,790	▲ 2.7	278,991	▲ 1.3
26年3月	505	19.6	178	27.9	327	15.6	427	5.4	16,729	7.9	102.0	1.5	321,335	9.8	386,066	23.5
資料	北海道経済産業局						自販連、軽自動車連		総務省統計局		総務省統計局					

※表中の一部の数字は速報値であるため、のちに発表される確報値と若干異なる場合がある。

※四捨五入の関係で、月別の値と年合計の値が合致しない場合がある。

